

# チャットレディ向けライブ配信サイト比較レポート(国内サイトと海外サイトの違い)

はじめに

チャットレディとして活動できるライブ配信サイトは、大きく「国内サイト」と「海外サイト」の2種類に分けられます。

それぞれに特徴・メリット・リスクがあり、自分に合ったサイトを選ぶためには、両者の違いを正確に理解しておくことが重要です。

本レポートでは、国内・海外サイトの主要プラットフォームのデータをもとに、報酬・安全性・活動スタイルなどの観点から比較・解説します。

## 1. 国内サイトの概要

国内のチャットレディサイトは、2000年代初頭から運営されている老舗サービスが多く、運営会社・サポート体制・法的整備の面で安定感があります。

代表的なサイトとその特徴は以下の通りです。

### 主要国内サイト一覧

サイト名	運営会社	サービス開始	配信形式	特徴
FANZA	株式会社デジタルコマース	2003年	1対1・1対複数	アダルト・ノンアダルト・マダム系・バーチャルの4ジャンルの4ジャンル

ライブでゴー ゴー	株式会社ハ イスペック	2004年	1対1・1対複 数	ノンアダルト 専門
VI-VO(ビー ボ)	株式会社エ ムジー	2016年	1対1・1対複 数	初心者向け・ サポート充 実
ガールズ チャット	ブルージェイ 株式会社	2009年	1対1・1対複 数	35歳以下・ 日本国籍限 定
モコム	株式会社リ アズ	2008年	1対1	フリマ機能・ ミッション機 能あり
ファム	株式会社リ アズ	2009年	1対1	人妻系ジャ ンル・18歳以 上登録可
クレア	株式会社ア テナコーポ レーション	2010年	1対1	メール報酬 単価40円と 高め
グラン	株式会社ア テナコーポ レーション	2010年	1対1	23歳以上・ 人妻系ジャ ンル
キャンディ トーク	株式会社ア テナコーポ レーション	2008年	1対1	TV通話・音 声通話ニー ズが高い

国内サイトの多くは、ビデオ通話・音声通話・メールの3つの収益手段を持ち、活動スタイルに応じて収入源を組み合わせることができます。

また、全サイトに日本語サポートが完備されており、初めてチャットレディに挑戦する方でも安心して利用しやすい環境が整っています。

---

## 2. 国内サイトの報酬体系

国内サイトの報酬は、主に「1対1チャット(2ショット)」「1対複数のライブ配信(パーティ)」「メール」の3種類で構成されています。

特にライブ配信(パーティ)形式は複数の視聴者から同時に報酬が発生するため、効率よく稼ぎやすい配信スタイルといえます。

ライブ配信(1対複数)に対応しているのは、FANZA・ライブでゴーゴー・VI-VO・ガールズチャットの4サイトです。一方、モコム・ファム・クリア・グラン・キャンディトークは1対1のビデオ通話・音声通話・メールがメインとなります。

報酬の支払い条件については、サイトごとに最低支払額や振込手数料が異なります。VI-VOは最低支払額1,000円・手数料200円と、他サイトに比べてハードルが低く設定されており、初心者が報酬を受け取りやすい仕組みになっています。

一方、ガールズチャット・クリア・グランなどは最低支払額が5,000円以上に設定されているため、ある程度の稼働実績を積んでから精算となる点は把握しておきましょう。

支払いサイクルについては、多くの国内サイトが「随時・最短翌日~2日後」に対応しており、即金性の高さは国内サイトの大きな強みのひとつです。

---

## 3. 海外サイトの概要

海外サイトとして広く知られているのは「DXLIVE」と「FC2ライブ」の2つです。

DXLIVEはアメリカに拠点を置く老舗ライブ配信サイトで、2002年のサービス開始から20年以上の運営実績を持ちます。

日本語サポートも完備されており、英語が話せなくても問題なく活動できます。

FC2ライブについては、過去に関連する摘発事例が報告されており、運用内容や配信の方向性によっては法的リスクが生じる可能性が指摘されています。摘発の主な原因はわいせつ行為・規約違反・代理店の運用上の問題であり、サイトへの登録自体が即座に違法となるわけではありません。

ただし、トラブル事例が他サイトに比べて多く報告されている実態を踏まえると、少なくとも活動先として積極的にお勧めできるサイトではないといえます。海外サイトでの活動を検討する場合は、実質的にDXLIVEが現実的な選択肢となるでしょう。

---

#### 4. 海外サイト(DXLIVE)の報酬体系

DXLIVEの報酬は時給制ではなく歩合制で、男性ユーザーが支払った金額の30%がチャットレディの報酬となります。報酬はドル建てで発生し、日本円への換算時に為替レートの影響を受けます。

DXLIVEの公式サイトでは、時給換算の平均額として約9,000円という数字が示されています。ただしこれは上位層を含めた平均値であり、稼働条件や為替レートによっても変動するため、個人差が大きい点は念頭に置いておく必要があります。

国内サイトとのパーティチャット単価を比較すると、その差は以下の通りです。

サイト	パーティチャット単価
DXLIVE	約108円/分×参加人数(1ドル150円換算)
FANZA	50円/分×参加人数
ライブでゴーゴー	40～50円/分×参加人数
VI-VO	60円/分×参加人数

例えばDXLIVEのパーティチャットに5人が参加した場合、1分あたりの報酬は540円となる計算です。同じ条件でFANZAの場合は250円であり、単純比較でも報酬単価の差は明確です。

ただし、これはあくまで計算上の数字であり、実際の稼働結果は参加人数・配信時間・視聴者の定着度などによって大きく変わります。

さらに、円安局面においてはドル建て報酬の恩恵を直接受けられる点も特徴のひとつです。

2026年5月時点では1ドル150～155円前後で推移しており、為替の面では現在がDXLIVEにとって有利なタイミングといえます。ただし為替は常に変動するものであり、円高に転じた際には報酬が目減りするリスクも併せて理解しておきましょう。

報酬の受け取り方法は銀行振込(月1回)とプリペイドカード(月2回)の2種類がありますが、銀行振込の場合は海外送金を理由に銀行から確認の連絡が入るケースがある点に留意が必要です。プリペイドカードは振込履歴が残らないメリットがある一方、月3ドルの維持費が発生します。

なお、国内サイトの多くが「随時・最短翌日」の即日精算に対応しているのに対し、DXLIVEは月1～2回の決まったタイミングでの精算となるため、即金性を求める場合は国内サイトが有利です。

---

## 5. 国内サイトと海外サイトのリスク比較

チャットレディ活動において、リスク管理は非常に重要なテーマです。国内・海外それぞれのリスクを正確に把握した上で活動することが求められます。

### 法律リスクについて

海外サイトでの配信は、それ自体が違法行為にあたるわけではありません。

ただし、海外のサーバーを経由した配信であっても、日本国内から配信を行う場合には日本の法律が適用される可能性がある点は重要です。

特に問題となるのはわいせつ性の高い配信であり、不特定多数に向けたわいせつな映像の配信は、刑法のわいせつ物頒布等の罪に問われるリスクがあります。局部の露出はその典型例として挙げられますが、厳密には「不特定多数への配信」と「わいせつ性の有無」が法的判断のポイントとなります。

意図的な行為はもちろん、うっかり見えてしまったケースであっても問題となり得るため、十分な注意が必要です。

国内サイトの場合、違反行為が発生しそうになると自動的に配信が切断される仕組みが整っているサイトも多くあります。

しかし海外サイトにはそのような保護機能がなく、自分自身でラインを守る必要があります。配信中に男性ユーザーから「海外だから日本の法律は関係ない」「みんなやっている」などと唆されるケースも報告されていますが、こうした発言は絶対に鵜呑みにしてはいけません。

#### 映像流出リスクについて

海外サイトは国内サイトに比べて、録画・映像流出のリスクが高い傾向にあります。流出先として挙げられるのは主に海外発のアダルト系動画サイトです。国内サイトでは配信映像にサイトのロゴ(ウォーターマーク)が入る仕組みが一般的であり、流出した際の抑止・追跡のしやすさという点で一定の対策が講じられています。海外サイトにはこうした保護機能が弱く、流出リスクは相対的に高くなる傾向があります。

ただし、国内サイトであっても映像流出の可能性がゼロとは言い切れない点は念頭に置いておく必要があります。国内・海外を問わず、配信時のリスク管理は自分自身で徹底することが前提となります。

#### アダルト度とリスクの連鎖について

国内サイトにはノンアダルトというジャンルが存在しており、アダルト要素なしで活動できるサイト・プランが複数用意されています。

例えばライブでゴーゴーはノンアダルト専門サイトであり、VI-VOやガールズチャットもノンアダルト対応が可能です。

一方、海外サイトはアダルト配信がメインの文化であり、ノンアダルトでの活動が完全に不可能というわけではないものの、集客が弱く単価も出にくいいため、現実的に安定した活動は難しい傾向があります。アダルト度が高くなるほど、法律違反リスクや映像流出リスクも連鎖的に高まるという構造は理解しておきたいポイントです。

---

## 6. 身バレ・流出への具体的な対策

国内・海外を問わず、配信活動において身バレや映像流出への対策は必須です。特に海外サイトでの活動においては、より徹底したリスク管理が求められます。

顔を出さない配信が最も安全な方法であり、マスク着用や口元のみを見せるスタイルが広く取られています。海外サイトではマスク着用での配信が多い傾向にあります。

顔出しで配信する場合は、以下の対策を必ず講じることをお勧めします。普段とメイクや服装をがらっと変える、ウィッグを着用する、眼鏡をかける、ほくろなど個人を特定しやすい特徴をメイク等で隠すといった対策が基本となります。また、プロフィールにはニックネームを使用し、個人情報は一切載せないことが鉄則です。

---

## 7. 登録方法：直接登録と代理店経由の違い

国内・海外サイトともに、登録方法は「直接サイトへの登録」と「チャットレディ代理店(事務所)経由での登録」の2種類があります。

直接登録の場合、代理店の取り分が発生しないため報酬率が高くなります。自宅での配信環境が整っている場合は、直接登録の方が収入面で有利です。

代理店経由の場合は、配信専用のチャットルームに通勤できる点が最大のメリットです。自宅での配信が難しい方や、衣装・ウィッグなどのレンタルを活用したい方にとっては有効な選択肢となります。ただし代理店の取り分が差し引かれるため、報酬率は直接登録より低くなります。

代理店については、国内・海外を問わず悪質な事業者が存在する点には注意が必要です。特に海外サイト対応の代理店ではトラブルの報告が目立つ傾向があり、慎重な見極めが求められます。国内サイト対応の代理店だからといって無条件に安全とは言い切れない点も併せて理解しておきましょう。

DXLIVEの場合、代理店の公式サイトに「報酬率70～80%」と記載されていることがありますが、これはDXLIVEから事務所に入る金額に対しての割合であり、直接契約の報酬率(30%)を上回るものではありません。数字の見せ方に惑わされないよう注意が必要です。代理店とのやりとりで少しでも違和感を覚えた場合は、契約を見合わせることを強くお勧めします。

## 8. 国内サイトと海外サイトの総合比較

比較項目	国内サイト	海外サイト(DXLIVE)
報酬単価	40～60円/分(パーティ)	約108円/分(パーティ)※1ドル150円換算
為替の影響	なし	あり(円安時に有利・円高時にリスク)
即金性	高い(最短翌日)	低い(月1～2回)
アダルト度	ノンアダルト対応あり	アダルトメイン
法律リスク	比較的低い傾向	自己管理が特に重要
流出リスク	比較的低い傾向(ロゴ入り対策あり)	比較的高い傾向

サポート体制	充実(24時間対応サイトあり)	日本語対応可
代理店リスク	トラブル事例あり・要注意	トラブル事例が目立つ・特に要注意

おわりに

国内サイトと海外サイトには、それぞれ明確なメリットとリスクが存在します。報酬単価の高さという点では海外サイト(DXLIVE)が優位ですが、法律リスク・流出リスク・即金性・サポート体制を総合的に考慮すると、特にチャットレディ初心者や、ノンアダルトでの活動を希望する方には国内サイトから始めることが現実的な選択です。

海外サイトへの挑戦は、国内サイトでの活動に慣れ、リスク管理を徹底できると判断できてからでも遅くはありません。どちらのサイトを選ぶ場合も、自分自身を守るための知識と対策を十分に持った上で活動することが何より重要です。

---

本レポートの情報は2026年5月時点のものです。各サイトの報酬・規約等は変更される場合があります。最新情報は各サイトの公式情報をご確認ください。

調査・作成:リモ活ガイド編集部

作成日:2026年5月

#### 出典

- DXLIVE 公式サイト「チャットレディ報酬・サービス情報」  
<https://www.dxlive.com/job/mo/>
- ライブでゴーゴー 公式サイト「報酬について」<https://lady.livede55.com/reward/>
- VI-VO(ビーボ) 公式サイト「メールレディ求人」<https://vi-vo.link/lady/>
- FANZA 公式サイト「チャットレディ報酬情報」  
<https://www.dmm.co.jp/live/chat/recruit/salary.html>

- e-GOV法令検索「刑法第一百七十五条(わいせつ物頒布等)」

[https://laws.e-gov.go.jp/law/140AC000000045#Mp-Pa\\_2-Ch\\_22-At\\_175](https://laws.e-gov.go.jp/law/140AC000000045#Mp-Pa_2-Ch_22-At_175)